

2020年



2月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 横江英樹
〒461-0004
名古屋市中区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
fax(052)931-2651
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

『原爆に苦しめられてきた被爆者に希望を』

ノーモア・ヒバクシャ訴訟 最高裁で弁論



1月21日、ノーモアヒバクシャ訴訟最高裁弁論が開かれ、最高裁で愛知、高松、長崎で争われたきた原爆症認定却下の取り消しを求めた訴訟がまとめ審理されています。愛知の訴訟では、1審では4名が提訴し、2名が勝訴、2名が敗訴しましたが、転で勝訴していきまし。高松では2名とも逆転。しかし、国側は最高裁で審理され

てきました。開廷前には原告、弁護団を先頭に入廷行動が行われ、その後、傍聴券を求めて抽選が行われました。弁論では、まず国側が弁論を行いました。従来通り経過観察は「現に医療を要する状態」とは言えないとの主張を行いました。原告側はまず愛知と高松の原告2名が弁論を行いました。愛知の原告の高井ツタエさんは「私は

被爆者です。しかし私はそのことを隠して生きてきました。結婚を考えたこともありません。身内に反対されたからと告げられ、被爆者である過去を捨てようとする古屋に移り住んだこと、お見合いで結婚した夫にも明かさず、知らないまま亡くなり毎日仏壇に手を合わせ謝っていること、東日本大震災が起きて福島原発事故がきっかけになり被爆者として生きていこうと決意したこと、そして自身の被爆体験、その後原因不明の体調不良に苦しめられてきたことなどを一言一言しっかりと話され、最後に「どうか被爆者を助ける判断を下してください。そのことが、原爆に苦しめられてきた被爆者に希望を与えてくれます」と訴えられました。

「原爆による被害の実態をふまえ、被爆者援護法の趣旨を十分に理解した上でなされるべきである」と主張したいとし、要医療性の問題も「医療の現場において、経過観察が重なる医療行為であることは論を俟たないところであり、経過観察が医療ではないとしても、経過観察の主張は、医療に対する侮蔑とさえいえます。」原爆放射線による被爆の健康影響については未解明の部分が残されているので、被爆者医療において、特別な意義を有することを目指しておきます」と主張しました。

閉廷後、衆議院会館に場所を移し、報告集会と記者会見が行われました。しかし、はじめに用意されていた会議室では集まった支援者や報道関係者が入りきれなくなり、急ぎよ広い会議室に移動することになりました。高井さんは「私が被爆者というだけで、子どもにも孫にも心配をかけている」と話され、内藤さんは「母は私たち姉妹が結婚できるかとても心配していた。結婚し、子どもが生まれ、母の気持ちがよく分かった」と被爆者であることが自身だけ

弱く、成人してから白内障などいろいろな病気にかかり、今も苦しんでいることを語られました。原告2人の弁論の間、5人の裁判官は、手元の資料よりも話している被爆者をじっくりと見つめながら聞いていたのがとても印象的でした。

経過観察も重要な医療行為

「原爆による被害の実態をふまえ、被爆者援護法の趣旨を十分に理解した上でなされるべきである」と主張したいとし、要医療性の問題も「医療の現場において、経過観察が重なる医療行為であることは論を俟たないところであり、経過観察が医療ではないとしても、経過観察の主張は、医療に対する侮蔑とさえいえます。」原爆放射線による被爆の健康影響については未解明の部分が残されているので、被爆者医療において、特別な意義を有することを目指しておきます」と主張しました。

二度と繰り返さないで

閉廷後、衆議院会館に場所を移し、報告集会と記者会見が行われました。しかし、はじめに用意されていた会議室では集まった支援者や報道関係者が入りきれなくなり、急ぎよ広い会議室に移動することになりました。高井さんは「私が被爆者というだけで、子どもにも孫にも心配をかけている」と話され、内藤さんは「母は私たち姉妹が結婚できるかとても心配していた。結婚し、子どもが生まれ、母の気持ちがよく分かった」と被爆者であることが自身だけ

でなく子どもや孫まで影響が出るのではないかと苦しんでいないことも話され、た。2人とも「今後、絶対に原爆を使つてはいけない」と強く訴えられました。最高裁での審理が行われている間、取り組まれてきた「被爆者から最高裁に宛てた手紙」は156名の被爆者から手紙が届き、自身の被爆体験や核兵器廃絶の思いが綴られていました。集会の中では、数名の手紙が紹介されました。被爆者が被爆から75年間、生きてきた、苦しんできた思い、そして「二度と繰り返さないで」という思いの詰まった手紙でした。



報告集会で発言する内藤さん(中央)と高井さん(左)

